

止めたトラックがバック・・・傾斜した駐車場

荷台とポールに挟まれ、トラック運転手の男性死亡

◇駐車する時は、車止めの設置と、サイドブレーキを確実に掛けましょう◇

2016年8月6日（土）22時30分

5日午後7時ごろ、埼玉県のラーメン店駐車場で、トラック運転手の男性（49）が、運転してきた2トントラック荷台と金属製のポール（高さ1.6m、直径19cm）に挟まれた。運転手の男性は頭部などを打ち、間もなく死亡した。警察によると、店内にいた男性客が、運転手の男性がトラックを止め、車両の脇に立っていたところ、トラックがバックし、運転手の男性が慌てて後部荷台に駆け寄るのを見たという。店の室外機前に設置された2本のポールとトラックに挟まれた状態となり、同店が110番した。駐車場は傾斜しており、同署で事故原因を調べている。トラックは同店にモヤシを配送途中だった。

熱中症に注意、「水分補給」 積卸作業足元に注意

交差点進入時は・・・

- ①あわてて行動しない
- ②交差点には、必ず「人」や「自転車」や「車」がいる
- ③相手は、「避けない」、「止まらない」・・・かもしれない

交差点では、信号の変わり目の・・・「見切り発車」、「後追い行動」は危険です

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

◇見られていますよ！ あなたの運転、あなたの作業◇
◇危険な運転・危険な作業は、自分・他人の命取りです◇

夏休み・・・小・中・高校生の自転車に注意しましょう！

釧路 軽乗用車はみ出しタンクローリー正面衝突

女性（祖母）と孫が死亡

◇デイ・ライトで知らせよう・・・自分の存在、はみ出し、正面衝突事故防止◇

2016年8月7日（日）0時37分

6日午後1時5分ごろ、釧路市阿寒町下舌辛（しもしたから）の国道240号で、無職の女性（74）の軽乗用車と、運転手の男性（51）運転のタンクローリーが衝突した。女性と、同乗していた孫の男児（10）が病院に運ばれたが、死亡が確認された。同乗していた兄（12）も重傷を負った。釧路署によると、兄弟は夏休みで釧路市を訪れていたといい、市中心部から女性宅に帰る途中だったらしい。現場は片側1車線のカーブのあとの直線道路で、女性の車が対向車線にはみだし、正面衝突したとみて調べている。

駐車していた無人のポンプ車、壁に突っ込む

車止めの設置を怠った上、サイドブレーキのかけ方が甘かった

◇駐車する時は、車止めの設置と、サイドブレーキを確実に掛けましょう◇

2016年8月4日 8時20分

3日午後1時40分ごろ、秋田県の消防署の分署で、車庫に駐車していた無人のポンプ車が動きだし、向かいのコンクリート製の壁に突っ込んだ。けが人はいなかった。消防本部によると、事故は落雷調査で出動したポンプ車が同署に戻り、車庫に駐車した後に発生。ポンプ車は目の前の歩道と県道を横切るようにして約14メートル進み、向かいのアパートの壁にぶつかり停止した。運転していた男性消防士（24）が車止めの設置を怠った上、サイドブレーキのかけ方が甘かったことが原因とみられる。消防本部の警防課長は「このような事故を起こし申し訳ない。安全確認の徹底を図る」と話した。

前の安全をよく確かめていなかった

道路を横断していた男性はねられ重体

◇車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう◇

2016年8月7日（日）1時12分

5日午後10時ごろ、富山県の国道で道路を横断していた会社員の男性（59）が直進してきた乗用車にはねられ、病院に運ばれましたが、頭などを強く打ち意識不明の重体となっています。警察は乗用車を運転していた53歳の男性が前の安全をよく確かめていなかったのが事故の原因と見ています。

カーブ バイク転倒、対向のトラックにひかれ死亡

バイクは転倒した後センターラインを越え、対向車線にはみ出した

◇デイ・ライトで知らせよう・・・自分の存在、はみ出し事故防止◇

(2016/8/7(日) 18:13)

7日午前8時半すぎ、大分県の広域農道で、バイクが緩やかな左カーブで転倒し、対向車線を走ってきたトラックに轢かれました。この事故でバイクを運転していた建設作業員の男性（36）が死亡しました。またトラックを運転していた34歳の男性も首や肩に軽いけがをしました。バイクは転倒した後センターラインを越え、対向車線にはみ出したとみられています。